

## 1 単元名 バスケットボール

## 2 運動の特性

## (1) 一般的特性

バスケットボールは、2つのチームがコート内に入り交じって、パスやドリブルを使って攻めたり、味方と協力して相手の攻撃を防いだりして、ゴールにシュートして得点を競い合うことが楽しい運動である。

## (2) 子どもから見た特性 ～省略～

## 3 視点と学習の手だて研究の仮説

## (1) 市教研体育部の研究主題

生涯にわたって健康を保持増進し、運動に親しむ子どもを育てる体育学習

## (2) 学習の手だて

視点1 子どもの実態を的確に把握し、運動の特性と指導内容を明確にした上で、子どもたちが学習意欲やめあてをもって取り組めるようねらいや道すじ（内容）・活動を工夫する。

〈手立て〉

## ○ 道すじの工夫

子どもたちは、これまでにゴール型ゲームの経験はあるが、動きがそこまで高まっているとは言えない。それは、ボール操作やボール運びなどの動きについて、子どもたちの間で目指す姿やプレーが共有されていないこと、子どもたち自身が自分のプレーに対して自信をもてていないことが要因だろうと考える。そこで本単元では、こうした実態を踏まえ、子どもたち一人一人がどのような動きをすればよいかを感じ取ることができるように道すじを工夫する。

ねらい①では、子どもたち一人一人がボールに触れる状況を増やしたり、どのような動きをしたらよいのかを考えやすくしたりするために、数的優位の場面が生まれるように4対3という人数でゲームに取り組んでいく。このゲームを繰り返していくことにより、数的優位の場面のよさを生かすことに目を向けさせ、自分がどこに動けば有利になるのかを考えながらプレーをすることができるようになるだろう。また、この動きを意識させていくことが本学級の子どもたちにとって重要と捉え、ねらい①の時間を多く設けることとする。ねらい①が充実することで、ねらい②での動きや作戦の質の高まりが生まれるだろうと考える。

ねらい②は、4対4の同数でゲームを行う。ここでは、ねらい①で経験した数的優位の場面のよさを4対4の中でいかに作り出せるかを考えさせていく。ねらい①でのボールをもらう動きを想起させ、チームの特徴を生かして攻め方を考えるようにしていきたい。そうすることで、試合中どこに動けばよいかわからない子どもたちが減り、ボールをもらうために動こうとする子どもが増えていくだろう。

○ つながる運動（2対1）

子どもたちの実態を見てみると、パスを受けるための動きが上手でよくボールに触れている子とそうでない子に大きな差がある。また、バスケットボールを楽しんでいる時はシュートを決めた時が楽しいと答えている子どもが多い。しかし、シュートの場面を作るためには、ボールをもらうための動きが大切になってくる。そこで、試合に入る前に単元を通して、試合でボールをもらえるように、1ゴールでミニゲーム（2対1）を行う。フリーの子は、どこでもらったらすぐにシュートを打てるか考えながら動いていき、どうしたらボールをもらえるかに気付かせ、ゲームの中でも生かせるようにしたい。また、ミニゲームの待機中の子どもたちは、ボールをもらえた動きを見て、真似をしたり、メモをしたりして、チーム内で共有を図っていく。単元を通して行うことで、ボールをもらう動き方を積み重ねることができ、試合で活用できるようにしていきたい。

【つながる運動】 2対1

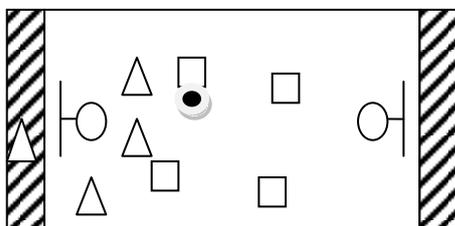
- ・攻撃側が得点した時、または、守備側がボールを保した時。⇒役割をローテーションする。
- ・ローテーションの順序…①攻撃⇒②攻撃⇒③見る⇒④守備

視点2 一人一人のよさを伸ばすかわり合いを活性化するなど、学習に意欲的に取り組むための手だてを工夫する。

○ ルールの工夫

ねらい①では、4対3の数的有利の状況では、フリーでのシュートやフリーの子へパスが容易になり、みんなが楽しく学習できると考えた。また、ボールをもらう動きもわかりやすくなり、ボールに触る機会が増えることで、ボールをもらう動きが身に付き、自信をもって動くことができるだろう。ねらい②では、4対4とするので、ねらい①とは動きは変わるが、その中で、ねらい①での動き方を生かして、攻め方を考えさせていきたい。マークがついている状況からフリーになり、ボールをもらいシュートする場面が作れるよう、チームで話し合っただけで考えていく。ここでは、4対4の中で、4対3（数的優位）の動きをどう作るようにしていくかを意識させたい。そうすることで、ボールをもらうためにフリーになる動きがうまれるだろう。他にも「ボールに触りたい」「シュートしたい」という実態から、「全員ゴールボーナス点」を取り入れ、みんながボールに触れる機会を増やすことで、シュートの楽しさを感じさせたい。

※ねらい①の数的有利について



ゴールを入れたら、自陣のコートの後ろの待機ゾーンに行く。 

待機ゾーンにいる子は、相手チームがゴールに決めたら、戻ることができる。

はじめに提示するルール

- 〈ねらい①〉 4対3      〈ねらい②〉 4対4      ○試合時間 前半3分 後半3分
- 前半と後半の間にチームの時間2分（ねらい②）      ○全員が得点できたらボーナス点（5点）
- アウトナンバー（ねらい①のみ）
- ・ゴールを決めたら、待機ゾーンに行く。・相手にゴールを決められたらコートに戻れる。

○ 動き方の共有

試合中、どこに動いたらよいかわからないという子どもがいないよう、つながる運動やねらい①でのよい動きを個人やチームで学習カードに書き溜めていく。よい動きとは、ただフリーになるだけではなく、次のプレーがしやすいところに動くということ、クラスでは共通理解をしていく。つながる運動やねらい①では、メモをとれるものを用意し、たくさん溜めていけるようにする。ボールをもらうために様々な動きがあることに気付き、チームに合った動きを精選したり考えたりして、ねらい②では、勝つための有効な作戦につながると考える。

4 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

- 友達と協力して、ルールやマナーを守り意欲的にゲームを楽しむことができる。
- ボールをもらう動き方や攻め方を、考えて活動することができる。
- パス・シュート・ボールをもらう動きを身に付けることができる。

(2) 学習の道すじ (本時 5/8)

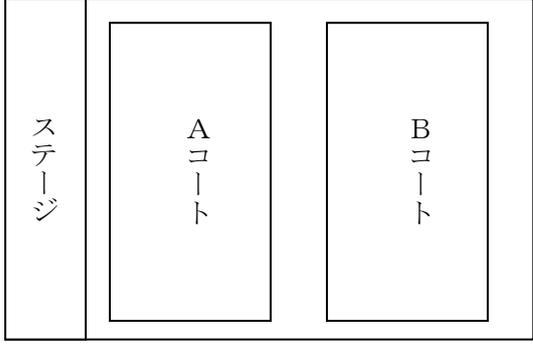
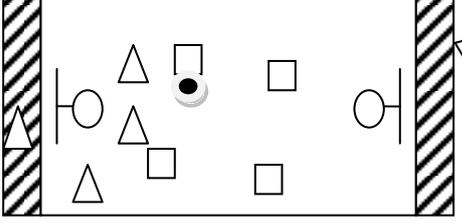
	1	2	3	4	5 (本時)	6	7	8
0 ↓ 4 5	オリエンテーション	つながる運動 (2対1)						
		ねらい① 総当たり戦 やさしいルールで、バスケットボールを楽しむ。				ねらい② 対抗戦 作戦を考えてゲームに取り組み、バスケットボールを楽しむ。		
								まとめ
関・意・態	①②	④			③			
思考・判断			①			②	①	②
技能				③	②	①	③	②

5 評価について (おおむね満足できる状況)

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団対集団で競い合う楽しさや喜びに触れることができるよう、ボール運動に進んで取り組もうとしている。</li> <li>・ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> <li>・用具や準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>・運動をする場を整備したり、用具の安全を保持したりすることに気を配ろうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型のゲームの行い方を知るとともに、簡易化されたゲームを行うためのルールを選んでいる。</li> <li>・チームの特徴に応じた攻め方を知るとともに、自分のチームの特徴に合った作戦を立てている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール型では、簡易化されたゲームで、攻守が入り交じた攻防をするためのボール操作やボールを受けるための動きができる。</li> </ul>
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①バスケットボールの学習に進んで取り組もうとする。</li> <li>②ルールやマナーを守り、友達と助け合って練習やゲームをしようとしている。</li> <li>③用具の準備や片付けで、分担された役割を果たそうとしている。</li> <li>④場の安全に配慮しようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①基本的なボール操作や動き方のポイントを知るとともに、自分の力に合ったためあてをもっている。</li> <li>②自分たちに合った攻め方を考えようとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①フリーの味方に取りやすいパスを出したり、出されたパスを落とさずに取ったりすることができる。</li> <li>②仲間からボールを受けることのできる場所に動くことができる。</li> <li>③ゴールに体を向けて、山なりのシュートを打つことができる。</li> </ul>

6 学習活動と支援（本時5／8）

は じ め	<p>1 オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のねらいや道すじを理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</li> <li>○安全やマナーについてを理解し、運動の仕方を知る。</li> <li>○学習カードの使い方や友達とのかかわり方を確認する。</li> <li>○用具の準備や後片付け、場の安全について理解する。</li> </ul> <p>2 次の学習のめあてを立てる。</p>	
な か ①	<p style="text-align: center;">学習内容と活動</p> <p>1 用具の準備、準備運動、つながる運動をする。</p> <p>○つながる運動（2対1）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1チーム1ゴールを使う。</li> <li>・点が入るか守備側がボールを保持したら交代する。</li> <li>・攻めと守りはローテーションをする。</li> </ul> </div> <p>2 ねらい①を確認し、活動を始める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ねらい① やさしいルールで、バスケットボールを楽しむ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈ねらい①〉 4対3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1チームは、男女混合4人、8チーム。前半3分、後半3分。</li> <li>・全員が得点できたらボーナス点（5点）</li> <li>・取り合いになった場合は、じゃんけん。2回目以降は交互にする。</li> <li>・ゲームをしていないチームはオフィシャル（時計と得点）をする。</li> <li>・セルフジャッジとする。</li> <li>・スローイン時はパスカットできない。</li> </ul> </div> <p>【予想されるめあての例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーになってパスをもらう。</li> <li>・フリーになるために動き、シュートをうつ。</li> <li>・ボールにかたまらないように動く。</li> </ul> <p>3 ゲームを行う。（総当たり戦）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム①…A対B C対D</li> </ul> <p style="margin-left: 20px;">前半 E、G—オフィシャル F、H—チームで話し合い</p> <p style="margin-left: 20px;">後半 E、G—チームで話し合い F、H—オフィシャル</p>	<p style="text-align: center;">教師の指導・支援（○）と評価（◇）</p> <p>○チームで協力して準備するように声をかける。</p> <p>◇約束を守って、安全に運動をしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】</p> <p>○動いていない子には、ボールをもらえるように前だけでなく、後ろや横に動くよう助言する。</p> <p>○ゲームに生かせるようにボールを受けたら、できるだけ早くシュートするように助言する。</p> <p>○うまくボールがもらえた動きはメモをするように声をかける。</p> <p>◇基本的なボール操作や動き方のポイントを知るとともに、自分に合っためあてをもっている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断】</p> <p>○はじめのあいさつやマナーがしっかり守れるように確認する。</p> <p>○ゲームをしていないチームは、友達のゲームを見て、どう動いたらシュートまでいけているかを考えながら見るよう声をかける。</p> <p>◇仲間からボールを受けることのできる場所に動くことができる。</p> <p style="text-align: right;">【技能】</p>

<p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム②…E対F G対H</li> <li>前半 A、B—オフィシャル</li> <li>C、D—チームで話し合い</li> <li>後半 A、B—チームで話し合い</li> <li>C、D—オフィシャル</li> <li>・ゲーム③④も同様。</li> </ul>  <p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆サイドの空いているところに動いたらパスがもらえた。</li> <li>・フェイントを使ってマークを外したらパスをもらえてシュートがうてた。</li> </ul> <p>5 整理運動、後片付けを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ゲーム中のボールをもらう動きができている子を積極的に取り上げて称賛する。</li> <li>○動き方がわからず困っている子には、その場で動く方向を助言したり、一緒に動いてあげたりする。</li> <li>○チームの話し合いでは、みんなが動いているか、後半に生かせることは何かなど、具体的に話し合うよう声をかける。</li> <li>◇場の安全に配慮しようとしている。</li> </ul> <p style="text-align: right;"><b>【関心・意欲・態度】</b></p>  <p>○ボールをもらえた動きやシュートまでいった動きは全体に紹介し、共有していく。</p> <p>○安全に気をつけて片付けをするよう声をかける。</p>
<p>な</p> <p>か</p>	<p>1 用具の準備、準備運動、つながる運動をする。</p> <p>○つながる運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1チーム1ゴールを使う。</li> <li>・点が入るか守備側がボールを保持したら交代する。</li> <li>・攻めと守りはローテーションをする。</li> </ul> <p>2 学習内容を確認をする。</p> <p>ねらい② 作戦を考えてゲームに取り組み、バスケットボールを楽しむ。</p> <p>3 ゲームを行う。(対抗戦)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲーム①…4対4のゲームを行う。</li> </ul> <p>〈ねらい②〉4対4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前半3分—チームの時間2分—後半3分。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○積み重ねた動き方の資料を参考に動くように声をかける。</li> <li>○新たにボールをもらう動きを発見したらメモをするように声をかける。</li> </ul> <p>○積み重ねてきた資料をもとに、攻め方を考えるように助言する。</p> <p>○チームの仲間が作戦をしっかり理解しているか確認するよう声をかける。</p>

<p>②</p> <p>6</p> <p>7</p>	<p><b>【予想される作戦】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスが上手な〇〇さんがボールを持ったから、2人が一気に動いてもらおう。</li> <li>・△△さんはシュートが上手だからゴールの近くでパスをもらうようにしよう。</li> <li>・□□さんは動きが素早いので、フェイントを使って、マークを外してシュートにつなげよう。</li> <li>・◇◇さんは、足が速いので、逆サイドに動いてパスをもらってシュートをしよう。</li> </ul> <p>4 チームの時間の活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・□□さんが、マークを外してくれたからシュートまでいくことができたね。後半も同じ作戦でいこう。</li> <li>・△△さんへのマークが厳しいから、後半は、〇〇さんがゴール前でパスをもらってシュートをしよう。</li> </ul> <p>5 ゲーム②…同じ相手とゲームを行う。 ※第1ゲームと同様に行う。</p> <p>6 本時の振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスが上手な〇〇さんがボールを持った時、2人が一気に動いたら☆☆さんにパスが通った。</li> <li>・ゴールの近くでパスをもらうようにしたけれど、マークにつかれてシュートができなかった。マークを外すためにもっと動く必要があった。</li> </ul> <p>7 整理運動、後片付けを行う。</p>	<p>◇チームの特徴に合った攻め方を立てている。</p> <p><b>【思考・判断】</b></p> <p>◇フリーの味方に取りやすいパスを出したり、出されたパスを落とさずに取ったりすることができる。 <b>【技能】</b></p> <p>○得点につながった攻め方は、たくさん使うように声をかける。</p> <p>○なぜうまくいかなかったのかを考えさせ、次に生かせるように声をかける。</p> <p>◇仲間からボールを受けることのできる場所に動くことができる。 <b>【技能】</b></p> <p>○次のゲームに生かせるように、よかったところや課題となるところを明確にし、チーム全体で把握するよう声をかける。</p>  <p>○シュートまでつながる動きや声かけを行っていた子どもやチームを称賛し、次時の学習の意欲を高めるとともに動き方を確認する。</p> <p>○近くの友達とスムーズに片付けできるように声をかける。</p>
<p>まとめ</p>	<p>学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達と協力して、ルールやマナーを守り意欲的にゲームを楽しむことができたか。</li> <li>○ボールをもらう動き方を考えて、攻め方を考えて活動することができたか。</li> <li>○パス・シュート・ボールをもらう動きの技能を身に付けてゲームを行うことができたか。</li> </ul>	